

曾慶地区 文化祭

多くの来場者で賑わう

11月1日と2日の2日間、わたり曾慶地区文化祭が開催されました。メイン会場となった多目的ホールには、各自治会や個人作品の他、保育園と大東小・中学校の生徒の作品も飾られました。曾慶13区佐藤正男さんの「匠たちの道具」墨壺展では100点以上に及ぶ貴重な墨壺が並び、来場者の関心を集めました。また、曾慶のお宝伝承プロジェクトによる地域内にある石碑の「拓本」の展示や、最近発見された元禄時代と明治時代の曾慶村絵図の展示も来場者の目を引いていました。



精巧な仕上げの作品に見入る
来場者の方も多くいました



さらに開催期間中、「音楽喫茶・結」の臨時営業が行われ、作品鑑賞の合間などのひととき、音楽やお茶を楽しみながら、安らぎと交流の時間を過ごしました。また、曾慶のお宝史跡のデジタルマップピングの活用実演も行われました。ふれあい食堂では、1日には食生活改善推進員協議会の皆さんの手作り「かぼちゃドーナツ」販売、2日には手打ちそばの会の皆さんによる食堂が行われ、曾慶のドーナツやそばを目当てに地区外から来場する方もみられました。センター前の駐車場では、JA女性部による軽トラ市、大判焼きや炊き込みご飯なども販売され、2日間で250人近くにご来場いただき、地域の歴史文化の発信と交流の二日間となりました。

そげっば通信 11月

●あなたと市民センターをつなぐ情報紙

曾慶市民センター
曾慶字神蔭32-1
☎ 0191-75-2244
FAX 0191-34-6630
Email: info@yuinet-sogei.com

各自治会や個人、JA女性部
などから多数の作品が展示



「職人たちの道具～墨壺展」では、佐藤正男さん所蔵の墨壺103点が展示され圧巻でした

◎ジャンボカボチャ 重さ当てクイズ当選者

- ①熊谷勲さん（4区）
- ②藤原裕也さん（3区）
- ③菊池志穂さん（一関）
- ④佐藤郁子さん（13区）
- ⑤岩渕正信さん（2区）

■正解は75.9kgでした。
◎クイズには53票の応募があり、当選者にはJA和牛女性部から賞品が贈られました。

大盛況だった「そげいふれあい食堂」

廊下ではそば打ちの実演も行われました



今年の食堂也大盛況でした

家庭教育学級

親子で学びと楽しい時間を共有

10月27日、曾慶保育園を会場に県南青少年の家所長佐藤敦士さんを講師にお迎えして家庭教育学級を開催しました。最初はピアノ姿の「くらうん・しゅがー」として絵本ライブ。次々と繰り広げられる読み聞かせや歌、マジックショーなどに子どもたちの目は釘付けで、笑顔あふれる時間となりました。保護者対象の講演会では、ゲームやスマホの普及で子どもたちにどのような影響を与えるか、また子ども達にとって絵本や遊びなど普段の親子の関りの大切さをお話いただきました。保護者から「とてもいい話が聞けた。改めて子育てについて考えさせられた」などの感想をいただきました。



「くらうん・しゅがー」のマジックに子どもたちも大はしゃぎ

岩渕善朗さんが叙勲

秋の叙勲で岩渕善朗さん（5区）が消防功労として長年にわたる功績が認められ、瑞宝単光章を受章されました。

善朗さんは昭和57年、35歳のときに大東町消防団に入団。合併後の市消防団では副団長、地域本部長等を経て、平成29年から退団する令和3年までの5年間は本団の副団長を務められました。退団までの39年間で一番記憶に残っていることは、東日本大震災。発生直後に使命感に突き動かされる団員と共に現地に出向き、陣頭指揮を取り行方不明者の捜索等に当たりました。また、火災現場にいち早く駆けつけたのは数知れず。「気心の知れた部下や団員がいたからこそまでやってこれた」と長年の消防団活動を振り返りました。



大東高校だより

《7》 大東高生、行事で、地域で、部活で、大活躍!!

大東高校文化祭「琢磨祭」が10月3～4日に行われ、文化部等のステージ発表、模擬店、学習成果の展示等を披露しました。当日はキッチンカーやPTA母親委員会の出店もありました。ご来場の皆様、ご協力いただいた皆様ありがとうございました。

DjoBは琢磨祭や東山うれし市、いちのせき産業まつり商工祭に出店しました。インターンシップ報告会では2年生の報告に1年生が真剣に耳を傾けました。

弓道部が全国高校選抜県予選で男子団体3位、佐藤光晟さんが2位入賞し、佐藤さんが全国へ駒を進めました。鹿踊部は高総文祭郷土芸能発表会で優良賞を受賞したほか、唐梅館絵巻で演舞しました。この他、摺沢駅の清掃、芸術鑑賞会、摺沢子ども園との交流等、精力的に活動しました。



品揃え等工夫を凝らした文化祭での模擬店



全国高校選抜県予選で男子団体3位に入賞した弓道部。佐藤光晟さんは2位入賞し全国へ駒を進めました。



DjoBのインターンシップ報告会で活動を発表

よい子はセンターに集まれ!

わぎゃすた〜S〃が昨年に引き続き、今年もクリスマスに楽しい時間をプレゼント!詳しくは子供たちに贈るX'masカードをごらんください。

- ◆日程: 12月13日(土) 午前中
- ◆会場: 曾慶地区センター
- ◆対象: 曾慶地区在住の小学生以下
- ◆内容: お楽しみに



曾慶地区卓球大会を開催

曾慶体協主催の恒例行事です。どなたでも参加できます。道具は体協で準備しますが、マイラケットのある方はぜひ持ってきてご参加ください。参加賞を準備して皆様のご参加をお待ちしています。

- ◆日時…12月7日(日)午後1時30分～
- ◆会場…曾慶体育館
- ◆試合形式…男女混合個人戦
- ◆持ち物…上靴、ラケット(ある方)



ポッチャで楽しく交流

11月9日、曾慶体育館でポッチャ大会が開催されました。初めてポッチャを体験した人も徐々にコツをつかみ楽しく交流しました。

- 1位 岩淵敏男・岩淵甲治郎 / 2位 小山治(親子) / 3位 岩淵嘉代子・佐藤ツタ子、同 菊池辰雄・佐藤千明



9/27 グラウンド・ゴルフ同好会月例会の結果 ※3位まで

- 第1位 藤原孝樹 68打
- 第2位 岩淵嘉代子 82打
- 第3位 足利七三二 84打

《ホールイン・ワン》

- 5回 藤原孝樹 / 4回 小山昭二
- 3回 岩淵嘉代子・佐藤勝治
- 2回 足利七三二
- 1回 足利国美・佐藤ツタ子・岩淵甲治郎・岩淵正和・足利良男・岩淵敏男・岩淵正美



《12月の行事予定》

- 12月4日(木) ヨガ教室 (以降11・18・25日)
- 12月6日(土) 音楽喫茶「結」
- 12月7日(日) 卓球大会
- 12月13日(土) クリスマスイベント
- 12月15日(月) しめ縄づくり教室
- 12月17日(水) オカザリ伝承会
- 12月25日(木) 行政区長会議

お知らせ

学びの土曜塾参加者募集!

大東地域内の小学校を対象に、今年も「学びの土曜塾<冬休み編>」を開催します。

詳しくは、小学校を通じて配布するチラシをご覧ください。

- ◆日時: 令和8年1月8日(木) 9時30分～16時
- ◆会場: 一関市民俗資料館、渋民市民センター
- ◆定員: 30名程度
- ◆テーマ: 『Daito Quest ～立体魔方陣の秘密～』
- ◆講師: 秘密結社クーゲルシュライバー 森 英隆 氏

しめ縄教室を行います

年末恒例のしめ縄教室を開催します。正月に飾るしめ縄を自分で制作してみませんか?今回の講師は、毎年参加していただいている参加者の皆さんです。初めての方でも大丈夫です。気楽にご参加下さい。

- ◆日程: 12月15日(月) 9時30分～
- ◆会場: 曾慶地区センター多目的ホール
- ◆参加費: 無料 ◆定員: 15名

オカザリ伝承会を開催

正月飾りとして東北地方に古くから伝わるオカザリ(紙切り)の中でも、曾慶に伝わるオカザリは最大級で、現在その技を持っている方は熊谷昭穂さん(4区)ただ一人です。

「曾慶のお宝伝承プロジェクト」では、同会員が熊谷さんから教わっているオカザリの技術を共有し、その技を後世に伝えるためにオカザリ伝承会を開催します。

- ◆日程…12月17日(水) 13:30～16:00
- ◆会場…曾慶地区センター
- ◆参加費…無料

◆その他…材料は準備しますが、使い慣れたカッターナイフを持って来ていただければいいと思います。

- ◆参加申し込み…曾慶市民センター(☎75-2244)



音楽喫茶「結」 MusicCafe Yui

次の開店は12月6日(土) 14:00～16:00です

◎12月の音楽喫茶は、冬うた特集です。後半はリクエストコーナー、または歌声喫茶になるかも? ※ホール西側の玄関よりお入りください。

そげいびと

③6 藤原 みのる さん

～曾慶字後沢～



パステルアートの

魅力に惹かれて

今年度の曾慶市民センター事業「ふれあい学級・パステルとアート」で講師を務めていただいたみのるさんから話を伺いました。

昨年の文化祭で展示されたみのるさんの作品を観た方は、小さいながら色彩豊かで温かい作品の世界に引き込まれたことと思います。

みのるさんがパステル和なごみアートと出会ったのは3年ほど前。たまに飲食店で手にしたフリーペーパーに載っていた絵に惹かれ、「描いてみよう」とやる気スイッチが入った」と話します。筆やペンで描くのではなく、パステルを粉状にして指で描くというから驚きです。パステルアートの魅力については「柔らかいタッチで温かみがあり、短時間で絵が完成すること」と話します。

みのるさんは意外なことに、元々絵が好きだった訳ではなかったようです。絵の前は洋裁が好きで、服や帽子を作っていた時期もあったとか。そういえば、お洒落な帽子がとても似合っていた彼女をよく見かけました。ピンとくればすぐに行動に移す柔軟性も持ち合わせているようです。

絵を通じて人の輪が

大きくなればよい

お隣、東山町出身のみのるさんが曾慶に嫁ぎ暮らすようになって感じたことは、「人々の距離感が近く、繋がりが強い」と感じたそうです。「いい意味で、何もなければ心は野に咲く花のよう」と素敵な表現で語ってくれました。「室根山が綺麗にみえる」景観もお気に入りのようです。

市内の大きな食品製造会社に勤めるみのるさんは、「外国人労働者が多い環境にいると改めて日本人の良さを感じている」そうです。義両親、夫、2人の子供さんと6人家族のみのるさん、今後の目標は「絵を通じて人の輪が大きくなればよいなあ」と話し、「微力ながら行事などに参加し、励まし合い、喜び合い、助け合いながら地域に貢献したい」とも。最後に「日本人としての魂を忘れず日々を大切に過ごしたい」と話していただきました。

曾慶の人口と世帯数

令和7年11月1日現在

行政区	世帯数	男	女	合計
1区	28	36	26	62
2区	68	86	85	171
3区	49	60	70	130
4区	48	65	71	136
5区	65	78	73	151
6区	41	57	57	114
7区	32	40	42	82
13区	32	42	36	78
こはぎ荘	50	21	29	50
合計	413	485	489	974
前月比	0	0	△1	△1



曾慶歳時記

曾慶地区芸能祭

今年で37回目となる曾慶地区芸能祭が11月23日、曾慶地区センターを会場に開催されました。自治会や各種団体などから約3時間にわたり20演目が繰り広げられ、会場は笑いと熱気に包まれました。

曾慶地区芸能祭はもはや曾慶地区の名物イベントとして毎年楽しみにしている人も多く、観客と出演者含めて200人近くが楽しいひとときを過ごしました。詳細は来月号でご紹介しますのでお楽しみに。